

令和8年度 シラバス

教 科	数学	科 目	数学Ⅰ	学 年	第2学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2 単位	教科書	新編 数学Ⅰ（第一学習社）				
副教材	スタディ数学Ⅰ（第一学習社）、数学就職問題集（愛媛県高等学校教育研究会数学部会）						

学習目標	図形と計量、データの分析について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを正確に活用する能力を養います。 就職問題集の問題を解くことによって、これまでに学習した数学の知識を総合的に活用する能力を高めていきます。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
------	---

キャリア教育の視点	粘り強く考えることにより問題が解けたときの喜びを通して、自己肯定感を高めていきます。 数学を通して身に付けた論理的思考力を活用して、他者に筋道を立てて説明する力を養っていきます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学期	4 月	4 章 図形と計量	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。 具体的には、三角比を利用して辺の長さや角の大きさ、三角形を含む多角形の面積の求め方を学習します。また、これらの考え方を用いて平面図形だけでなく、空間図形にまで考察の対象を広げていきます。	中間考査
	5 月	1 節 三角比		
	6 月	①三角比 ②三角比の利用		期末考査
	7 月	③鋭角の三角比の相互関係 ④鈍角の三角比 2 節 図形の計量 ①正弦定理 ②余弦定理 ③三角形の面積 ④正弦定理と余弦定理の利用		
2 学期	8 月	5 章 データの分析	四分位偏差、分散、標準偏差、散布図や相関係数など統計の基本的な考え方を理解するとともに、それらを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにします。 過去の就職試験で出題された問題を解くことで、就職問題の出題形式に慣れるとともに、比と歩合、数と式の計算、1 次方程式と 1 次不等式、2 次方程式と 2 次不等式に関する内容を復習します。	中間考査
	9 月	1 節 データの分析		
	10 月	①データの整理 ②代表値 ③データの散らばり ④データの相関		期末考査
	11 月	数学就職問題集		
	12 月	第 1 章 比と歩合 第 2 章 数と式の計算 第 3 章 1 次方程式と 1 次関数 第 4 章 2 次方程式と 2 次関数		
3 学期	1 月	第 5 章 不等式	過去の就職試験で出題された問題を解くことで、就職問題の出題形式に慣れるとともに、不等式、三角比と三角関数、図形、数列などに関する内容を復習します。	学年末考査
	2 月	第 6 章 三角比と三角関数		
	3 月	第 10 章 図形 第 11 章 数列 第 12 章 その他 第 13 章 総合問題		

学習の方法	授業の中でまず教科書の内容を理解していきます。その後問題集を用いて演習を行い、授業内容が理解できているか、自分の力で解くことができるかを確認していきます。 予習・授業・復習の良い流れを作り、計画性をもって学習に取り組んでいきましょう。
-------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。 その際、知識・技能や思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度も考慮します。
-------	--

備考	
----	--

